

1

これまでの経緯と改訂の趣旨

高知市では、1995（平成7）年12月に「みんなが輝く自由のまち高知」の実現をめざし、「'95高知市文化振興ビジョン」を策定しました。このビジョンの期間中には、行政と市民・企業等が協働して施策の推進に取り組み、市民の文化創造と生涯学習の拠点施設となる「高知市文化プラザかるぽーと」の整備や都市景観に配慮したまちづくりなど、一定の成果を挙げることができました。

その後、2011（平成23）年4月に市町村合併による市域の拡大や人口減少社会の到来に対応する2011高知市総合計画を策定したことを契機として、'95ビジョンの成果を活かした取組を充実させながら、「自然と人との共生」を強く意識した高知市独自の文化観を確立するために、2012（平成24）年4月に新たな「高知市文化振興ビジョン」を策定し、「みんなで育む文化の力」を基本理念として掲げ、これまで各種施策に取り組んできました。

この間、日本全体で人口減少と少子高齢化の急速な進展が現実のものとなり、若者を中心に地方圏から東京圏への人口流出が深刻な問題となりました。これらを背景に地域経済は疲弊し、まちのにぎわいが徐々に薄れつつある中で、東日本大震災以降、全国で相次ぐ大規模な自然災害の発生、そして、近い将来に発生が予想される南海トラフ地震も相まって、多くの人々が将来への不安を抱えている状況が続いています。

他方で、医療、福祉、産業などさまざまな分野において科学技術は目覚ましい進化をとげ、ヒト・モノ・カネ、そして情報が自由に世界を移動するグローバル化は瞬く間に進展しました。これらは、ライフスタイルやワークスタイルの幅広い場面で、人々の嗜好やニーズの多様化・高度化を伴いながら、私たちに大きな利便性をもたらす一方で、人間関係や地域の連帯感の希薄化に及ぼす影響が指摘されるなど、新たな社会的課題を引き起こしています。

今回、このような社会経済情勢の変化等を踏まえて、文化が持つ人と人との絆を育む力や、文化の裾野の広さ、社会への波及効果等を最大限に活用して、地域における諸課題の解決や改善につないでいくといった考え方にに基づき、市民ニーズに沿った文化振興施策をより一層効果的に展開していくために、このビジョンを改訂します。

「高知市文化振興ビジョンの変遷」

- 1995（平成7）年 高知市文化振興ビジョン
～みんなが輝く自由のまち高知～ 策定
- 2012（平成24）年 高知市文化振興ビジョン
～みんなで育む文化の力～ 策定
- 2018（平成30）年 同 改訂版策定（中間見直し）

